

1月の新刊

【一般図書】

1月12日(土)貸し出し開始

(新刊情報は毎月末更新の「並木北コミュニティハウス」[ホームページ](#)で)

血の雫	相場 英雄	東京都内で連続殺人事件が発生。凶器は一致したものの被害者同士に接点がなく捜査は難航する。やがて事件は、インターネットを使った劇場型犯罪へと発展していく…。前代未聞の「殺人ショー」に隠された犯人の真の目的とは。社会派ミステリ。
大友落月記	赤神 諒	望まぬ戦もせねばならぬ。お家の分裂を防ぎ、領土と民を守るため。乱世を「武に生きる」男たちが命を賭して貫き通したものは？『大友二階崩れ』のその後、一寸先は闇の乱世における「義と利」「情と理」のせめぎあいをダイナミックに描いた歴史小説。
ガラスの殺意	秋吉 理香子	20年前に起きた通り魔事件の犯人が刺殺された。警察に「殺した」と通報したのは、その通り魔に両親を殺された柏原麻由子。だが、彼女はその現場から逃げる途中で交通事故に遭い、脳に障害を負っていた。驚愕の長編サスペンス・ミステリー。
フーガはユーガ	伊坂 幸太郎	常盤優我は仙台市内のファミレスで一人の男に語りだす。双子の弟・風我のこと、決して幸せでなかった子ども時代のこと、そして、彼ら兄弟だけの特別な「アレ」のこと。ちょっと不思議で、なんだか切ない長編小説。
国会議員基礎テスト	黒野 伸一	三権分立のうち、どうして一番大切な立法を構成する国会議員にだけ試験がないのかを疑問に思っていた橋本は、政治家にも資格試験を義務化する「国会議員基礎テスト」法案の立法に向けて邁進するのだが…。国会議員の在り方に一石を投じる問題作。
エムエス継続捜査ゼミ2	今野 敏	正義の暴走から、逃げ切れるのか。容疑者は教官・小早川？警察の「横暴」に美しきゼミ生たちが奮闘する。「継続捜査ゼミ」シリーズ第2弾。
無暁の鈴	西條 奈加	武家の庶子でありながら、家族に疎まれ寒村の寺に預けられた久斎は、兄僧からも辛く当たられていた。そんななか、水汲みに出かける沢で出会う村の娘・しのとの時間だけが唯一の救いだったのだが…。若き僧の成長と、その破天荒な生涯を描いた時代小説。
鏡の背面	篠田 節子	心に傷を負った女性たちのシェルターで火災が発生。「先生」こと小野尚子は入居者を助け、死亡。盛大な「お別れの会」が催された後、警察から衝撃の事実が告げられる。「小野尚子」として死んだ遺体は、別人のものだった…。長編サスペンス。
こちら横浜市港湾局みなと振興課です	真保 裕一	横浜市港湾局みなと振興課で働く船津暁帆のもとへ配属された新人・城戸原泰成。カンボジアからの研修生の失踪事件や、フォトコンテストの応募写真を巡る謎など、数々のトラブルを2人は解き明かしていくが…。港町・横浜ならではの、出会いと別れの物語。
天翔ける	葉室 麟	文久3年(1863)。京の尊攘派激徒を鎮めるべく、兵を挙げて上洛すべきか否か。重大な決断を迫られた前藩主・松平春嶽が思案をしている折、幕府の軍艦奉行並・勝海舟の使いが…。日本を守るため、激動の時代を駆け抜けた春嶽の生涯を描く。
愛なき世界	三浦 しをん	洋食屋の見習い・藤丸陽太は、植物学研究者をめざす本村紗英に恋をした。しかし本村は、三度の飯よりシロイヌナズナ(葉っぱ)の研究が好き。人生のすべてを植物に捧げる本村に、藤丸は恋の光合成を起こせるのか。世界の隅っこが輝き出す草食系恋愛小説。
昨日がなければ明日もない	宮部 みゆき	杉村三郎シリーズ第5弾。自殺未遂をし消息を絶った主婦、訳ありの家庭の訳ありの新婦、自己中なシングルマザーを相手に、杉村が奮闘する。
熱帯	森見 登美彦	沈黙読書会で見かけた『熱帯』は、なんとも奇妙な本だった。謎の解明に勤しむ「学団」に、神出鬼没の古本屋「暴夜書房」、鍵を握る鉛色のカードボックスと「部屋の中の部屋」…。東京の片隅で始まった冒険は、数多くの語り手の魂を乗り継いで、謎の源流へ。

☆ NHKテレビテキスト「きょうの料理1月号」、スタッフおすすめ雑誌は閲覧できます。

なお、2月新刊貸出日(2月9日)から貸出いたします。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。